

業務仕様書

1. 件名 衛星画像データ整備業務

2. 数量 1 式

3. 構成

- ・日本沿岸域の衛星画像データ 1 式
- ・漁港を含む湾内(10 箇所程度)の衛星画像データ 1 式
- ・港湾施設データおよびその抽出アルゴリズム 1 式

4. 仕様

4-1 日本沿岸域の衛星画像データ

沿岸漁場利用状況の分析で使用するための、衛星画像から抽出された各種環境条件データを収集し、指定するフォーマットで整備すること。データ項目及び仕様は以下のとおり。

- 1 データ整備範囲は、領海 12 海里とすること。
- 2 データ整備の期間は過去 20 年、4 季を基本とすること。ただし、衛星画像の撮影状況等により、同一の精度で収集、整備が難しい場合は、その旨記載し、可能な限り遡ってデータ整備をおこなうこと。
- 3 データの解像度は 4km 以下とすること。
- 4 データの座標系は WGS84 とすること。
- 5 収集データは a クロロフィル分布、b 海水温、c 波高とする。
- 6 データフォーマットは csv 形式とし、文字コードは UTF-8 とすること。なお、5 で示したデータ a~c の 3 ファイルに分けて作成し、列名は以下の基準にのっとり付与すること。

列名	内容
x	緯度。10 進表記。
y	経度。10 進表記。
chr_yyyymmdd	yyyy 年、mm 月、dd 日におけるクロロフィル量
...	同様に 20 年 4 季分
stmp_yyyymmdd	yyyy 年、mm 月、dd 日における海水温
...	同様に 20 年 4 季分
hakou_yyyymmdd	yyyy 年、mm 月、dd 日における波高
...	同様に 20 年 4 季分

- 7 6 のデータを整備するために収集したデータ(配布形式のまま)も提出すること。
- 8 6 のデータを整備するために処理(補間)したデータ(GeoTiff 形式)も提出すること。

4-2 漁港を含む湾内(10箇所)の衛星画像データ

沿岸漁場利用状況の分析で使用するための衛星画像から抽出された各種環境条件データを収集し、指定するフォーマットで整備すること。データ項目及び仕様は以下のとおり。

- 1 データ整備範囲は、別途提供する資料(10箇所程度)の範囲とすること。
- 2 データ整備の期間は過去 15～20 年、12 ヶ月を基本とすること。ただし、衛星画像の撮影状況等により、同一の精度で収集、整備が難しい場合は、その旨記載し、可能な限り遡ってデータ整備をおこなうこと。
- 3 データの解像度は 1km 以下とすること。
- 4 データの座標系は WGS84 とすること。
- 5 収集データは a クロロフィル分布、b 海水温、c 海底地形、d 塩分濃度、e 波高とする。
- 6 データフォーマットは csv 形式とし、文字コードは UTF-8 とすること。なお、5 で示したデータ a～e の 5 ファイルに分けて作成し、列名は以下の基準にのっとり付与すること。

列名	内容
X	緯度. 10 進表記。
Y	経度. 10 進表記。
chr_yyyymmdd	yyyy 年、mm 月、dd 日におけるクロロフィル量
...	同様に 15～20 年、12 ヶ月分
stmp_yyyymmdd	yyyy 年、mm 月、dd 日における海水温
...	同様に 15～20 年、12 ヶ月分
dpth	水深(データの最新年度)
salt_yyyymmdd	yyyy 年、mm 月、dd 日における塩分濃度
...	同様に 15～20 年、12 ヶ月分
hakou_yyyymmdd	yyyy 年、mm 月、dd 日における波高
...	同様に 15～20 年、12 ヶ月分

- 7 6 のデータを整備するために収集したデータ(配布形式のまま)も提出すること。
- 8 6 のデータを整備するために処理(補間)したデータ(GeoTiff 形式)も提出すること。

4-3 港湾施設データおよびその抽出アルゴリズム

沿岸漁場利用状況の分析で使用するため、漁港周辺部の大型冷凍施設等の港湾施設について、衛星画像から抽出するためのアルゴリズムを開発し、その成果を指定するフォーマットで整備すること。データ項目及び仕様は以下のとおり。

- 1 データ整備範囲は、別途提供する資料(10箇所程度)の範囲とすること。
- 2 データ整備の期間は過去 10～15 年を基本とすること。ただし、衛星画像の撮影状況等により、同一の精度で収集、整備が難しい場合は、その旨記載し、可能な限り遡ってデータ整備をおこなうこと。
- 3 データの解像度は 50cm 以下とすること。

- 4 データの座標系は WGS84 とすること。
- 5 収集データは a 大型冷凍施設、b その他とする。
- 6 データフォーマットは ESRI 社シェープファイル形式とし、文字コードは UTF-8 とすること。なお、5 で示したデータ a、b の 2 ファイルに分けて作成し、列名は以下の基準ののっとりて付与すること。

列名	内容
x	緯度。10 進表記。
y	経度。10 進表記。
date	画像撮影年月日時間
type	冷凍施設: reitou その他: sonota をそれぞれ属性値として付与

- 7 6 のデータ抽出に用いたアルゴリズム(Python)もあわせて提出すること。
- 8 衛星画像の分析プラットフォームには GBDX を使用することとし、GBDX の利用実績があること。

5. その他

1. 4. 仕様で示した収集データの解像度および時期は、衛星画像の撮影状況を整理した上で担当官と協議の上決定すること。

6. 納入成果物

- 1 業務完了後は、データファイルを保存したハードディスクを速やかに送付、納入すること。送付にかかる経費は請負者が負担すること。
- 2 本業務によって作成された成果物に関する所有権、著作権等の全ての権利は水産研究・教育機構に帰属するものとする。

本業務の入札ならびに受注後の施行過程で知り得た秘密等を第三者に漏洩してはならない。また著作権、特許権その他第三者の権利の対象になっている保守点検方法等の使用に関してはその費用負担及び使用交渉の一切を請負者の責任において行う。

7. 納入場所

神奈川県横浜市金沢区福浦 2-12-4

8. 納期

平成 30 年 12 月 14 日